年代	1965以前	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978
品質管理	・46 日本科学技術連盟（日科技連）発足 ・50 SQC(統計的品質管理) ・55 CWQC(全社的品質管理) ・62 QCサークル	・日科技連信頼性セミナー ・郵課長コース ・日科技連のコンピュータコース			・国際品質管理大会(ICQC'69 東京)	・品質機能展開 ・DR ・FME(C)A	・日本品質管理学会							・日科技連 新QCセミ連鎖研究会 ・ICQC '78東京
ソフトウェア工学	・コスト性能に対するグロッシュの法則			・ソフトウェア工学	・EUF/EUL(エンドユーザ)	・ライフサイクル(Water Fall モデル)				・インタラクティビティ(対話型) ・抽象データ型 ・知識工学[Datmouth] ・構造化設計	・広域分散システム			・知識ベース自動推論
組織・仕組み・活動	・ISO TC97		・JIPDEC		・ソフトウェア工場(日立)		・IEEEソフトウェア信頼性シンポジウム		・ Symposium on Computer Software Reliability	・IEEE Trans. On Softw.Eng.発刊	・1st NCSE(ICSE)	・情処学会ソフトウェア工学(SE)研究会	・ACM SIGSOFT	・日科技連 数学/ソフトウェア研究会
設計技術						・トップダウン・段階的/洗練化法 ・[Wirth 71]構造化プログラム ・階層型モジュール化基準 ・ワーニエ法 ・リレーショナルデータベース	・段階的詳細化	・制御構造設計 ・SP[Dijkstra '72]	・複合設計	・構造化設計	・ジャクソンプログラミング法 ・JSP ・EHモデル	・要求定義	・システムの階層分割[Ross]	
仕様・論理の記述法					・決定表	・JIS流れ図記号	・SPチャート		・HIPO ・NSチャート	・Chapinチャート ・PSL/PSA	・HCP	・CCITT SDL	・SADT[Ross] ・SREM	・PSD ・PAD ・階層的構造チャート ・De Marco のDFD
製造技術		・構造化定理			・構造化プログラミング ・形式手法	・チーフ・プログラマ・チーム(CPT)			・論理的プログラミング ・プログラミングスタイル	・抽象データ型プログラミング[Liskov '74]	・MIL75モジュール結合言語[De Remer]	・Thomas(モジュール結合言語)[De Remer] ・プログラムファミリ手法[Parnas]	・関数的プログラミング	・Cooprider モジュール結合言語
検証と評価手法	・'57 テストとデバッグの分離	・テストプログラムの自動生成		・正当性の形式的証明				・検証理論 ・テストカバレッジ	・動特性モデル			・McCabeの尺度(サイクロマチック複雑度) ・Inspection[Fagan]	・Halsteadの尺度(ソフトウェアサイエンス)	・静的テスト/経路分析手法[Fairley '79 Gannon '79)
品質計測				・プログラム品質特性(Rubey)					・ソフトウェア品質の事前評価(GQF) ・Wulf の品質定義 ・Boehm の品質特性				・McCall & Walters の品質モデル	・品質機能展開[Fairley '79 Gannon '79)
開発管理技術					・Aronのコストモデル	・ソフトウェアの生産管理	・モジュール化 ・WeinbergのエゴレスチームCPT ・チーフプログラマ・チーム(CPT)	・Bakerのチーフプログラマチーム	・抽象化		・見積り/マクロアプローチ ・見積り/ミクロアプローチ(Brooks)	・ライフサイクル	・資源見積り(Herd'77ほか)	・プログラマズ・ワークベンチ(PWB) ・プロセスの再利用(De Marco)
保全性・信頼性							・秋山モデル							・指数型NHPPモデル(信頼度・成長曲線)
プログラミング言語	・'54 FORTRAN ・'58 COBOL ・'59 LISP ALGOL '60 ・'62 APL ・'62 SNOBOL ・'64 PL/1 ・'64 BASIC ・'64 ALGOL W		・Simula 67 ・JIS FORTAN ・JIS COBOL	・ALGOL '69	・PASCAL ・BLISS ・SNOBOL 4		・C ・ALPHARD ・CLU ・PASCAL	・型理論F)システム[Girard] ・JIS COBOL		・型理論第二階ラムダ計算[Reynds]		・EUCLID	・Ada ・Z
その他					・UNIX						・Gurarded Command[Dijkstra]			・CSP [Hoare]
出版活動	・'46「規格と標準」(現「標準化と品質管理」) ・'50「品質管理」				・「JISハンドブック品質管理」		・統計数値表JSA-'72							
社会情	・'63 OS ・'65 MULTICS ・'69 工業標準化法			・NATO第1回ソフトウェア危機会議	・大阪万博開催 ・同左第2回	・MIS視察団		・日中国交正常化 ・UNIX	・第1次オイルショック		・Brooks "The Mythical Man-Month" ・NOの法則 ・全国59銀行「総金自動支払システム」完成			・東京サミット開催 ・真空管の生産終了

年代	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
品質管理	・ISO/TC176(QA)	・日科技連SPC研究会発足 ・日科技連SPC品質管理セミナー第1回 ・日本的品質管理の欧米への技術移転	・日科技連SPC品質管理シンポジウム第1回 ・JIS Z8101改正(品質管理用語) ・JIS Z8115改正(信頼性用語) ・Six Sigma(Motorola)		・ECO東京	・米国の月間ANSI/IEEE QA計画	・日科技連SQC品質管理研究会発足 ・ISO東京 ・ICQCC'85東京		・ICQCC'87東京 ・マルコム・ボルドリッジ国家品質賞(MB賞・米国) ・ISO9000～9004(ISOのQA規格)		・日科技連 ・SPC研究会発足 ・日科技連 ・SPC品質管理セミナー第1回 ・日本的品質管理の欧米への技術移転	・日科技連 ・ISR & M 東京	・日科技連 ・2SPCT ・ISR & M 東京	・日科技連 3SPCT ・SW-CMM(ソフトウェア向けCMM:Capability Maturity Model for Software: SW-CMM) ・高品質ソフトウェア技術文流会(QuaSTom)	・日科技連 4SPCT		・日科技連 5SPCT	・日科技連 6SPCT	・1WCSQ(世界ソフトウェア品質会議/米国カ(フォルニア州サンフランシスコ) ・日科技連 7SPCT	・日科技連 8SPCT ・ISO 14000シリーズ(環境マネジメント規格) ・PSP(Personal Software Process)／TSP(Team Software Process) ・日科技連TQM宣言	・日科技連 9SPCT ・ISO 9000-3(コンピュータソフトウェアの開発、供給、設置及び保守へのISO 9001:1994の適用指針) ・ISO TR 15504(プロセス改善、アセスメント)	・日科技連 10SPCT	・日科技連 1SPCT	・2WCSQ(世界ソフトウェア品質会議／日本・韓流) ・SPC20周年記念講演会(20thA-SPCT) ・ISO 90002:2000(プロセスアプローチ、デミング サイクルの採用) ・CMMI(Capability Maturity Model Integration、能力成熟度モデル統合)	・日科技連 1 2SPCT ・日本版CMM構想	・日科技連 1 3SPCT ・日科技連 1 4SPCT ・ソフトウェア技術者ネットワーク(S-Open)	・日科技連 1 5SPCT	・日科技連 1 6SPCT(ドイツ) ・日科技連 1 7SPCT(中国) ・ISO TR 90003(ソフトウェアエチーコンピュータ ソフトウェアへのISO9001:2000の適用の指針、JCT1/SC7へ移管) ・SWEBOK:2004(Software Engineering Body of Knowledge)	・日科技連 1 8SPCT(ドイツ) ・3WCSQ(世界ソフトウェア品質会議／インディ・ミュンヘン) ・日科技連 1 9SPCT(中国)	・日科技連 2 10SPCT(中国) ・日科技連 SQuBOK(the Software Quality Body of Knowledge)ガイド	・日科技連 2 11SQIPT(ベトナム)	・4WCSQ(世界ソフトウェア品質会議／米国メリーランド州ベセスダ) ・SQuBOKガイド ・Amendment 1 ・ソフトウェア品質技術者資格認定制度(JCSQE) 第1回 中級ソフトウェア品質技術者試験	・ソフトウェア品質技術者資格認定制度(JCSQE) 第1回 中級ソフトウェア品質技術者試験
ソフトウェア工学				・異機種環境	・開発規程分析 ・ソフトを熟力学第2法則未入 [N. Augustine] ・再利用(ITT Workshop'83)		・プログラミングイレメグラモ ・プログラミングイレザスモー ・IRDS(ANSI)	・GUI ・統合CASE ・ホロニック協調分散 ・Spiral Model(Boehm)	・プロセスプログラミング ・差分プログラミング	・ハイパープログラミング ・RISCアーキテクチャ	・ソフトウェアバス ・レポジトリ	・プログラミンググウェズモジュール ・ドメインアナリシス	・CORBA(Common Object Request Broker Architecture)							・Visual Studio		・エクストリーム・プログラミング(XP)			Net(Microsoft)	・テスト駆動開発(TDD)								
組織・仕組み・活動						・JISA ・X/Open	・SEI ・トシステム ・INTAP ・INSTAC ・ISO/TC76/SC21 WG5 ・FSF(Free Software Foundation)	・IFPUG	・ISO/IEC JTC1	・OSF(Open Software Foundation) ・UI(Unix International)	・OMG(Object Management Group)		・Linux開発開始	・X/OpenがUNIXの機構を管理開始	・JIFPUG										・IPAソフトウェアエンジニアリングセンタ(SEC)							・日本品質管理学会ソフトウェア部会		
設計技術	・形式仕様記述 [Guttag 80] ・トップダウン設計法[Yourdon]	・統一的設計方法論		・機能的設計法(花田) ・PAM	・オブジェクト指向設計法[Booch '83] ・データフロー設計法 ・ジャクソンシステム開発法 ・JSC ・CASE	・集合データ指向ソフトプログラミング設計法 ・フォーム主導システム設計法 ・ANSI/IEEE ソフトウェア要求仕様書	・リアルタイムSA [Ward][Hatly]	・契約による設計[Bertrand Meyer]	・オブジェクト指向分析法[Shlaer '88]			・オブジェクトモデル化法(OMT:Object Modeling Technique)	・Booch法				・デザインパターン(GoF)		・ソフトウェア・アーキテクチャ:Shaw,Garlan)				・アスペクト指向プログラミング								
仕様・論理の記述法						・TFF		・JIS決定表 ・JIS流れ図改訂				・OMT(Object Modeling Technique)記法							・統一モデリング言語(Unified Modeling Language、UML)						UML 2.0								
製造技術					・部品結合方式[Matsumoto '84]																											
検証と評価手法	・Halstead の尺度(ソフトウェアサイエンス)	・静的テスト/経路分析手法[Fairley '79 Gannon '79)			・Funct. Point による生産性尺度[Behrens]	・設計レビュー・コードウォークスルー	・設計書の7特性 [Meyer]													・ISO/IEC 14598(ソフトウェア製品の評価)				・ISO/IEC 15939(ソフトウェア測定プロセス) ・ISTQB(International Software Testing Qualifications Board)			・JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)							
品質計測	・McCall & Walters の品質モデル	・品質機能展開[Fairley '79 Gannon '79)		・操作的アプローチ(Zave Tse V.B May)	・ANSI/IEEE 1829 テスト計画情報	・操作的アプローチ(Zave CACM V.27 N.2) ・SQMAT ・SQUALAS																												
開発管理技術	・資源見積り(Herd'77ほか)	・プログラマズ・ワークベンチ(PWB) ・プロセスの再利用(De Marco)	・ファンクションポイント法(Albrecht) ・Putnum の資源配分モデル	・システム開発標準	・COCOMOモデル(Boehm)	・ソフトプロセス研究領域(Osterweil) ・統計的手法に基づく複雑さ尺度	・意識敷居作の重視と計測不能(Ralston)		・ソフトウェアオブジェクト管理 ・ホワイトペーパー(PMI) ・ISO品質評価モデル	・プロセス記述に基づく開発管理	・インテリジェントソフトウェアファクトリ(ISF) ・開発管理システム(PAOM)	・Humphreyのソフトウェアプロセス成熟度 ・設計品質評価(SQUART)										・アジャイルソフトウェア開発宣言									
保全性・信頼性							・指数型NHPPモデル(信頼度・成長曲線)				・遅延S字モデル		・習熟S字モデル ・ANSI／IEEE ソフトウェアQA計画書	・Parnasの老朽化論(American Scientist) ・混入バグ数予測モデル	・ANSI／IEEE ソフトウェアQAの手引き	・残存バグ数予測モデル		・インバーフェクトデバッギングモデル	・ISO/DIS 9000-3														
プログラミング言語	・Simula 67 ・JIS FORTAN ・JIS COBOL	・ALGOL '69	・PASCAL ・BLISS ・SNOBOL 4	・C ・ALPHARD ・CLU ・PASCAL	・型理論F)システム[Girard] ・JIS COBOL	・型理論第二階ラムダ計算[Reynds]	・EUCLID	・Ada ・Z	・wg ・awk	・ML(Milner)	・CHILL ・Smalltalk 80 ・型理論における Curry-Howardの対応	・JIS FORTRAN77	・型理論の代数的仕様記述への応用[Brustall]	・C++ ・COBOL85 ISO/ANSI	・型付ラムダ計算[Lambark]	・Perl		・NET-ALS ・Ada) ・LOTOS(ISO8807)	・Fortran90	・Visual Basic ・HTML/HTTP/WWW		・Ruby		・Common Lisp	・Java Script ・Delphi		・OO COBOL ・SpecC	・XML 1.0		・C#	・VB.NET	・ISO Z		・Ruby on Rails						
その他					・UNIX						・Gurarded Command[Dijkstra]		・ベームの法則(ハードがソフトのコストの比)	・CSP [Hoare]		・ライフサイクルに関する論争 ・生産過程の記録・データ収集 ・ベトリネット導入	・JIS応用システムの文書化要領	・ソフトウェア基礎学問の重要性知はる ・JIS計算機システム構成の認記号と用法 ・JIS流通ソフトウェアパッケージの説明書と外装表示 ・JISプログラム構成要素とその表記法	・ISO/IEC 9126		・ISO9001の国内第三者認証スタート		・Netscape Navigator	・BS 7799		・伽藍とバザール(Raymond)		・OSS [O'Reilly,1999] ・Apache Software Foundation ・Perl	・ISO/IEC 17799発行	・日本国内でISMS認証制度開始	・Amazon Web Services ・BS15000		・Eclipse Foundation	・BABOK ・ISO/IEC 20000 ・ISO/IEC 27001	・Amazon EC2					
出版活動	・ソフトウェアエンジニアリング」		・ソフトウェア信頼性ガイドブック ・ソフトウェアの品質評価法」	・ソフトウェアデザインレビュー」	・ソフトウェアの信頼性」		・「品質保証のための信頼性管理便覧」 ・「ソフトウェア生産技術」	・ソフトウェア品質管理シリーズ(全6巻)刊行			・「ソフトウェアモデリング」 ・「ソフトウェア品質管理と生産性技術」 ・「新版品質管理便覧」第2版 ・「電子情報通信ハンドブック」	・「ソフトウェア工学入門」 ・「富士通における「ソフトウェア品質保証の実際」 ・「品質管理総集編による高信頼性ソフトウェアの開発」	・「NECのSWQC活動 ソフトウェアの総合的品質管理」 ・「ソフトウェア品質管理ガイドブック」 ・「ソフトウェア品質管理事例集」	・「プロセス成熟度の改善」 ・「プロジェクト管理のメカニズム―高度情報時代のための人間学的プロジェクト管理」	・「段に立つデザインレビュー」 ・「ソフトウェアにおける考え方と戦略」 ・「成功させるプロジェクトマネジメント」 ・「ソフトウェアちょっといい話」 ・「富士通における「あゆみ」活動―高品質ソフトウェア開発への挑戦」 ・「業績型以青成の鍵」 ・「ソフトウェア再利用技術―オープン・ソフトウェアの開発パラダイム」 ・「経営情報のためのソフトウェア製品生産工学入門」	・「ソフトウェアちょっといい話('93)ユーザのニーズに応える最新技術」 ・「見積りの方法―ソフトウェア開発における実績的見積り技法」 ・「社内教育システム開発方法論―教育のプロフェッショナルを目指して」 ・「セキュリティ管理の技術―実践的機密保護への アプローチ」 ・「ソフトウェアマニュアルの開発―エンジニアリング手法の適用」 ・「スーパーSE―システム設計と管理のための社会学」 ・「日本的デザインレビューの実際―先進的事例からの体系化」 ・「ソフトウェア工学―実践の基礎―分析・設計・プログラミン	・「ソフトウェア品質保証の考え方―基礎と応用」 ・「21世紀への日本ソフトウェア品質管理技術―日科技連ソフトウェア品質管理賞10年の成果」 ・「技術の伝承と移転―異術技技術と人間との接点からの発想」 ・「プログラミング思考法―楽しいプログラミングのためのショートショート」 ・「情報システムの品質保証とシステム監査―より人間的な品質保証システムを求めて」	・「ソフトウェア品質保証の考え方オープン化時代に向けての体系的アプローチ」 ・「ソフトウェア信頼性ハンドブック―ソフトウェアの品質保証技術」	・「スーパーSEがすすめる知のモデリング―複雑系システムのための論理的思考と人間社会学」 ・「ソフトウェアISO9000(ソフトウェア品質システム審査登録ガイド)」 ・「ソフトウェア技術者のための法ガイド」 ・「ソフトウェア製品生産のためのOOの―ネオダマ時代の温故知新的アプローチ」		・「品質システム構築の手引き」 ・「デマルコ大いに語る―ソフトウェア40の問題点冴え」 ・「品質システム要求事項の解説」 ・「品質マニュアルの作り方と審査登録」	・「グローバルコラボレーション」 ・「ソフトウェア開発体質改革」	・「実践ソフトウェア工学」 ・「ソフトウェアエンジニアリング」 ・「システム設計の実際」 ・「ソフトウェアパターン再考」			・「スーパーSEによるプロジェクトの解剖―プロジェクトマネジメントの本質が見える、わかる、きわめられる」	・「オフショアリング完全ガイド」	・「クォリティワン」創刊 ・「実践ソフトウェアエンジニアリング―ソフトウェアプロフェッショナルのための基本知識」 ・「先端技術者のためのトラブルシューティング技術」		・「ソフトウェアテストHAYST法入門 品質と生産性がアップする直交表の使い方」 ・「ソフトウェア品質知識体系ガイド―SQuBOK Guide」	・「ソフトウェア品質保証入門―高品質を実現する考え方とマネジメントの実点」		・「ソフトウェア品質会計―NECの高品質ソフトウェア開発を支える品質保証技術」
社会情				・NATO第1回ソフトウェア危機会議	・大阪万博開催 ・同左第2回	・MIS視察団		・日中国交正常化 ・UNIX	・第1次オイルショック		・Brooks "The Mythical Man-Month" ・NOの法則 ・全国59銀行「総金自動支払システム」完成			・東京サミット開催 ・真空管の生産終了	・ニュージーランド航空南極で墜落 ・超伝導	・LAN:WAN, VAN	・スペースシャトル打上げ失敗		・INSモデル実験スタート ・サンフランスコ利車暴走 ・STARTS開始 ・ESPRIT開始 ・ICOT	・Macintosh・TRONプロジェクト	・科学万博つくば'85開催 ・ソ連巡航ミサイル撃墜 ・Σプロジェクト開始 ・円高	・男女雇用機会均等法	・米国議会で「ソフト産業の国際競争性」に関する公聴会 ・クスマノ「Japan's Software Factories: A Challenge to U.S. Management」		・超級第3次オンライン ・NIFTY	・品質システムの認定制度(欧州) ・日米構造協議	・時短元年(品質、生産性向上促進要因) ・バブル崩壊	・PMBOK(Project Management Body of Knowledge)	・ISO 9000発行、認証ビジネスが盛んに ・Amazon.com	・Yahoo!(USA) ・eBay(USA) ・Yahoo!(日本)	・米天市場		・Google	・Salesforce.com	・アマゾン(日本) ・ジャパンネット銀行									

"データベース管理システム"

"設計者の意図を正しく後工程の人へ伝える方法論争"

"ソフトウェア作成は芸術か科学論かの論争（10数年以上）" → ← "プログラミングパラダイムに関する論争"

"5コンピュータプロジェクトは何時？" 真列コンピュータ動き出す、何時？

[出典:「菅野文友 監修 日科技連ソフトウェア生産管理運営委員会 編.『ソフトウェア品質管理事例集』, 別添の品質管理年表, 日科技連出版社, 1990年」を1991年以降の内容を追加編集したもの]